

# 強者の戦略

【宗教に関する問題は難しいが頻出ですよ】

本当に雨がよく降りますね。洗濯物を干すタイミングが難しくて…。教室でも湿気が多いせいか、生徒が少しぐったりしていたり。これからの時期は体調管理が難しくなるな…。あ、ご挨拶が遅れました、こんにちは、北林です。

「強者の戦略 2012」は手にされましたか？先輩達がけっこう詳しくいろいろ書いてくれているでしょ？このHPもあわせて、ぜひ合格へのいろんなヒントを使ってほしいと切に願っています。

チャレンジしてくれたでしょうか。宗教の問題は難しいですね。かつて4月8日に実施されたスパルタンの体験授業で2009年の東京大学の問題を扱いましたが、地域ごとに宗教に対する接し方はちがいます(気になる人はスパルタンHPからオンデマンドで授業をご覧ください)。よかったです。

《解説…というよりワンポイントアドバイス》

今回の問題は、セルジューク朝（普通セルジューク朝と書きますが、問題に従って書いてください）、モンゴル帝国、オスマン帝国を比較しながらの問題です。「京大スパルタン」で実際に使用する画面をご覧ください。

問3

セルジューク朝、モンゴル帝国、オスマン帝国は、ともにトルコ系ないしモンゴル系の軍事集団が核となって形成された国家であり、かつ事情と程度は異なるものの、いずれも西アジアおよびイスラームと深くかかわった。この3つの政権それぞれのイスラームに対する姿勢や対応のあり方について、相互の違いに注意しつつ、300字以内で述べよ。句読点も字数に含めよ。

## セルジューク朝    モンゴル帝国    オスマン帝国

### イスラームに対する姿勢や対応のあり方

イスラームと仲が良かった？悪かった？信じた？信じてない？  
スンナ派？シーア派？イスラームの文化は？

### 相互の違いに注意しつつ

ということは比較をして相違点を答えないといけない！  
(今回は共通点はメインではない)

「イスラームに対する姿勢や対応のあり方」と、漠然とした問われ方をしているので、いろんなことが考えられると思います。まずは仲が良かったかどうか、つまり容認しているのか弾圧しているのか、などがすぐに思い浮かぶでしょう。またイスラーム、とだけ問われていますが、この3帝国の時期ならスンナ派とシーア派の王朝がすでにありますので、そのあたりも考慮したいところです。また「相互の違いに注意しつつ」

# 強者の戦略

とあるので、比較の問題です。通常比較の問題では、「共通点と相違点」をあげなくてはなりません、今回の場合は、相違点のみとなります。構成メモをつくるときにはおそらく両方書くと思いますが、文章化する際には気をつけてください。

さて、中身のワンポイントアドバイスにいきます。比較の問題の場合は、比較する項目は多くなくていいので、きっちり同じ項目で比べてください。比較の場合は表にすると考えやすいので、表をつくってみましょう。こちら「京大スパルタン」の授業で実際に使用する画面です。

	セルジューク朝	モンゴル帝国	オスマン帝国
カリフとの関係	カリフを助けてスルタンの称号をもらう	カリフを殺している (アッバース朝滅亡)	カリフの権限もあわせもつ
イスラム信じてた?	初めからイスラム王朝	イル=ハン国がイスラーム化 (ガザン=ハン国教化)	初めからイスラム王朝
宗派は?	スンナ派	スンナ派	スンナ派
シーア派との関係	ファーティマ朝と対立	(実は途中からシーア派)	サファヴィー朝と対立
文化は?	ニザーミーヤ学院 (マドラサ)	イスラーム文化保護 イラン=イスラーム文化 (ミニアチュールなど)	トルコ=イスラーム文化 (スレイマン=モスクなど)

**比較できるテーマは少なくてもいいから、同じテーマできっちり比較して文章化**

この3帝国の中ではじめからイスラームの国なのがセルジューク朝とオスマン帝国。モンゴルは途中からイスラームにかわってきます。モンゴルは分裂前から寛容に受け入れ(色目人もムスリムが多かった)、分裂後、イル=ハン国やキプチャク=ハン国がイスラームを国教化しています。宗派はすべてスンナ派なので、シーア派勢力との関係は当然視野に入れておくべきですね(解答例には入れていませんが、イル=ハン国はガザン=ハン国に国教化してスンナ派、ガザン=ハン以後にシーア派になっています)。またモンゴル帝国では、アッバース朝カリフを殺害しているので、カリフに対する姿勢はどうなのかも書くことができそうです。オスマン帝国のスルタン=カリフ制なんていう言葉もよく知っていると思います。

以上のようなことをふまえて、解答を作成してみてください。添削希望の方はご一報ください。

# 強者の戦略

では解答例です。

## 《解答例》

セルジューク朝はシーア派ブワイフ朝を滅亡させバグダードに入城、アッバース朝カリフからスルタンの称号を得てイスラーム世界の政治権力を握り、ファーティマ朝に対抗して主要都市に学院を建設、スンナ派神学・法学を奨励した。モンゴル帝国はフラグがアッバース朝を滅ぼしカリフ制を消滅させたが、分裂後イル＝ハン国はイスラームを受容、ガザン＝ハンが国教に定めイスラーム文化も保護した。スンナ派のオスマン帝国は、イランのシーア派サファヴィー朝と抗争するが、国内の異教徒へは寛容だった。またマムルーク朝を倒してカリフ家のあるカイロを占領、カリフ政治の後継者としてイスラーム世界の中心となり、トルコ＝イスラーム文化も栄えた。(300字)